

《complete the educational reform》

競争から共創、そして 響創の教育改革へ！

1. 平成20年度のスタートにあたって

今年度も多くの校長、副校長の退任、昇任、内転、転入の人事異動があり、校長会、副校長会の組織も大きく変わった。常々言っているように、会としての組織の在り方を自覚し、最終的には会としての存在を確立することが大切である。小平市立小・中学校の管理責任者であり、一校を預かる責任者である事を何よりも優先することが大事である。と同時に、小平市立小・中学校の校長、副校長で組織している会の一会員であることを認識して行動して欲しい。そして、小平の子供たちのために、保護者や地域の方々の信頼を獲得し、地域に支えられ、地域に愛される学校創造に教師集団のリーダーとなって取り組んで欲しいと願っている。

ところで、平成18年12月、改正教育基本法が成立し、昨年には学校教育法、教育公務員特例法・教育職員免許法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律等の一部改正、そして、学力低下論争から授業時数、教科内容の増が課題となり、今年に入り学習指導要領の改訂がなされた。今後は新しい学習指導要領に基づく教科書の編集作業が進み、いよいよ教育改革の正念場を迎えることになる。改革・改善の時にはその趣旨をいかに活かし、創造性豊かに学校再生・学校創造に取り組むかに全てがかかっている。しかし残念ながら、これまでの学校現場は易きに流れる傾向にあり、改革の趣旨を活かし、成果を上げた実績に乏しいのが現実でもある。その最たるものが「ゆとり教育」であり「総合的な学習の時間」である。「ゆとり教育」では、子供たちの在校時間を減らすことなく、特色ある教育活動を創造するという趣旨は実現できなかったし、「総合的な学習の時間」では、その学校に関わる社会資源（人的資源を含む）を活用した豊かな教育活動の創造にも学校間の格差があまりにも大きく、結果として、その授業時数までも削減されるという結果になったことは誠に残念である。改革の趣旨を活かすべく、学校現場が家庭や地域社会、関係機関との連携を真剣に考え、一つ一つ実現化を進めていけば必ず成果は残せたはずである。日本の教育改革はほぼ10年毎の教育課程の規準の見直しの下に進められてきたが、いつも指摘のみが多く、成果を確認することもなく、また成果の上に立った新たな挑戦に取り組む姿勢が見えないことが現実の姿である。

今回の教育改革は、改正教育基本法に基づく教育三法の一部改正、学習指導要領の改訂による戦後初めての大改革に連なるものである。更に今年度は、我が国の教育全体の方向性や施策を盛り込んだマスタープランとなる「教育振興基本計画」の策定が予定されている。この基本計画は改正教育基本法により国が定めることになっている計画であり、今後10年間の基本計画を定め、5年間の施策について提言することとなる。当然、

各自治体でもこれまでの教育政策や学校現場、地域社会での教育行政施策や取組を見直し、改正教育基本法や教育三法の改革の理念や内容を盛り込んだ計画を策定し、新たな教育改革に向け総合的に取り組んでいくこととなる。東京都教育委員会も「第二次・東京都教育ビジョン」の策定作業を進め、5月には公表の運びになると聞いている。

改革の現場にいる教員がこの事実を正面から受け止め、改革の趣旨を活かした学校教育の実現に取り組まない限り、慣例的な10年後の改革を待つこととなる。日本の教師は、世界でも最も優秀な教師集団であり、日本の学校教育は世界に誇れる、世界が参考とした教育制度であり、様々な施策を講じてきた。今度こそ、次の世代を育み、次の世代に残し、繋げることのできる教育改革を実現したいものである。そのためにも、改めて学校と家庭、地域社会、関係機関、教育行政との確固たる連携の下、小平の教育改革を堅実に進めていきたい。

期待される教師像と資質・能力

平成20年4月8日(火)
小平市教育委員会
教育長 坂井 康宣

1. 大きな社会問題となった「いじめ」「不登校」問題について

平成18年度秋に大きな社会問題となったいじめや不登校問題から起きた児童・生徒の自殺問題や高等学校の未履修問題については、その対応や処理を巡って教育委員会や学校の在り方に対して様々な論議を呼び、非難、不信が増大した。このことを契機に、教育再生会議等を中心に様々な改革、改善、改正案が話題となり、多くの提言が示されてきた。特に、いじめや不登校問題は、児童・生徒が楽しい、充実した学校生活を送るために解決しなければならない喫緊の課題となっており、教師の人間性、教師としての適格性が問われている。

平成17・18年度 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

文部科学省：不登校児童生徒数（30日以上欠席者）

年 度		平成17年度		平成18年度		出現率
学校種		学校総数	不登校児・生徒数	学校総数	不登校児・生徒数	
小学校	国立	73	63	73	72	0.33%
	公立	22,856	22,568	22,607	23,643	
	私立	194	80	198	109	
	計	23,123	22,711	22,878	23,824	
中学校	国立	76	290	76	329	2.88%
	公立	10,238	96,972	10,190	99,857	
	私立	721	2,284	726	500	
	計	11,035	99,546	10,992	100,686	
合計	国立	149	353	149	401	
	公立	33,094	119,540	32,797	123,500	
	私立	915	2,364	924	609	
	計	34,158	122,257	33,870	124,510	

不登校状態となった直接のきっかけ

○学校生活に起因

- 友人関係
- 教師との関係
- 学業の不信
- クラブ・部活動への不適合
- 学校のきまり等を巡る問題

- 家庭生活に起因
 - 入学・転編入学、進級時の不適応
 - 家庭の生活環境の急激な変化
 - 親子関係を巡る問題
 - 家庭内の不和
- 本人の問題に起因
 - 病気による欠席
 - その他本人に関わる問題

私の目指してきた学校像

子供の瞳が輝き 笑顔の溢れる学校

- ◇ 友だちのいる 楽しい学級・学校
- ◇ 活躍する場のある 活力に満ちた学級・学校
- ◇ 心豊かになれる 地域と共に歩む学級・学校

※ 授業観察のポイント

見つめる目！ 考える目！ 喜びの目！

子供を引きつける授業

夢中にさせる授業

充実感・達成感のある授業

2. 教育三法の一部改正

→改正教育基本法を受け、緊急に必要とされる教育制度の改正

※ 学校教育法

- 義務教育の目標新設と年限 → 学習指導要領の改訂
教育の機会均等、教育水準の維持向上、義務教育の無償制
- 学校評価のあり方と情報提供 → 学校評価の第三者評価
- 副校長(仮称)、主幹(仮称)、指導教諭(仮称)の職の創設 → 給与体系・定数改善
学校の組織運営の強化を図り、より充実した学校教育の実現を目指す。
- 大学等の履修証明の制度化 → 社会的評価

※ 教育職員免許法

質の高い優れた教員の確保

- 教員免許更新制の導入
 - ・10年間の有効期間を定め、知識・技能の刷新を図る。
 - ・現職も10年ごとの講習修了が必要
 - ・免許状更新修了未修了で有効期間の更新ができない場合、免許状は失効
- 指導が不適切な教員の人事管理の厳格化(教育公務員特例法)
 - ・指導力不足教員の認定と

- ・適格性を欠く等の理由で分限免職処分 免許状は失効

東京都においては、教職員の自己申告と業績評価が定着している

- ・校長・副校長の自己申告に基づく学校経営の評価
- ・教職員の自己申告に基づく学級・教科経営や授業観察等の評価

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

○教育委員会の責任体制の明確化

- ・教育委員会と教育長の役割の明確化
- ・教育委員会の活動状況の点検・評価

○教育委員会の体制充実

- ・広域教育行政体制の整備確立 (教育委員会の体制充実 →事務局職員等の充

実)

○教育における地方分権の推進

- ・教育委員数の弾力化と保護者の選任の義務化
- ・文化、スポーツに関する事務の首長部局への移管 (地方公共団体の判断)
- ・県費負担教職員の異動 (地区内異動は市町村教育委員会の意向)

○教育における国の責任の果たし方

- ・教育基本法等の趣旨を踏まえ、法令違反の場合には、国が法律上の責任を果たすことができるよう、適切な仕組みを構築

○私立学校に関する地方教育行政

3. これまで教師に期待されていた資質・能力

- ◆ 児童生徒に対する教育的愛情
- ◆ 教育者としての使命感
- ◆ 広く豊かな教養と人間性
- ◆ 教育の理念や人間の成長・発達についての深い理解
- ◆ 教科等に関する専門的知識

そしてそれらの上に立つ

- ◆ 実践的な指導力と児童・生徒への心の触れ合い

4. 東京都教育委員会の望む教師像

□各校種共通

○ 教育に対する熱意と使命感を持つ教師

子どもに対する愛情や教育者としての責任感が強くて、子どもの指導に時間を惜しまない教師

○ 豊かな人間性と思いやりのある教師

あらゆる生命を慈しむ温かい心を持ち、柔軟な思考ができる教師

○ 実践的な指導力のある教師

物事をわかりやすく要約・説明できる表現力や説得力がある教師

□小学校・特別支援学校

- 子どもに好かれる教師、子どもの相談にのれる教師、子どもたちの喜びや悲しみを共に分かち合い、子どもと一緒に考えてくれる教師
- 子どもたちと一緒に遊び、骨身を惜しまず行動し、体力のある教師

□中学校、高等学校

- 専門的知識・技術を持ち、どんな質問にも的確に答えを出せる教養のある教師
- いじめ・不登校などの問題を冷静に分析して、自分で解決しようとする熱意のある教師
- 常に自己研さんに努め、社会的常識や協調性がある教師

※ 東京都教育委員会の望まない教師像

- 社会のルールや礼儀作法に欠け、人間関係に疎い教師
- 自己の欲望や感情に流されやすく、自律心、自制心に乏しい教師
- マニュアルに依存し、自己啓発のできない教師

5. これからの教師に期待される資質・能力

◇長期に渡って教師を続けることのできる、教師としての適格性・資質・能力
教師自身の「豊かな人間性と主体性の確立」が重要になる。

1. 子どもの多様な特性、個性、能力、時代の要請に即応できるカリキュラム開発能力
2. 子どもの興味・関心を引き出す、多彩で多様な教育内容や指導法の開発能力と力量
(学校支援ボランティアの活用、学習教材の開発、指導と評価の一体化)
3. 生徒指導・教育相談の力量 (児童・生徒理解、保護者対応)
4. 心身に障害のある子供を適切に指導できる能力 (特別支援教育への理解と実践力)
5. 情報化対応能力 (情報機器の活用能力)
6. 国際化対応能力 (異文化集団の指導力)
7. 自分の考えを伝え、相手の考えを理解できるコミュニケーション能力と交渉力
8. 経営スタッフとしての自覚と経営参画 (企画力・提案力・実践力)
9. 開かれた学校創りと保護者・地域との協働 (連携から協働へ)
→ コミュニティ・スクール (学校経営協議会)
学校説明会・授業等公開・実践報告会 (外部評価)

2. 学力向上と同時に進める教育(進路指導)について

今年度は全ての小・中学校のアクションプログラムの一つに「学力向上」を位置づけることとした。しかしこのことはいたずらに子供たちの競争心を煽り、学校間の成果を競うものではないことを確認しておきたい。

私はこれまで、人は何故勉強しなければならないのかと言う子供たちの疑問に、機会があれば話をしてきた。多くの子供たちは、こんな大人になりたいとか、大人になったらこんな事をやってみたいという夢を密かに描いている。人は夢の実現のために、未来に描いた自分に会うために、未来に描いた自分になるために勉強するのだと教えてきた。

だからこそ一日一日を真剣に生きなければならないし、一日一日の積み重ねを大切にしなければならないこと。そして、その結果の責任は自分自身にあることを教えてきた。

卒業式や入学式でもできるだけ話しかけることにしてきた。しかし、先日不幸な事件が起き、大きなショックを受けた。卒業式も終わった3月25日の深夜11時5分頃、JR岡山駅のホームで、大阪市大東区の高校を卒業したばかりの18歳の少年が、岡山県職員の男性をホームから突き落とし、死亡させるという痛ましい殺人事件が発生した。

初めにニュースが飛び込んできたときには、またまたやりきれない世相を反映した事件かなと思っていたが、警察の事情聴取の内容が報道されるにいたり、他の人はどう思ったか知れないが、私としては真剣に考えなければならない事件であることを認識した。

この少年は成績も良く、大学進学を望んであり、そのつもりでいたが、家が経済的に苦しく、就職も視野に入れ、将来大学に行く計画を立てていたようである。しかし、父親との話し合いで自分の将来のことについて見放されたと思いこみ、家出をし、人を殺して刑務所に入ろうと決心したとのことである。元々素直な少年だったらしく、近所でも評判の仲の良い父子であったということである。ナイフを袖に隠し、人を殺そうとしたができず、コンビニで買ったホットドッグを午後10時45分頃駅構内に入り、ホームで食べている時に、衝動的に、近づいた電車で惹かれて殺そうと決意したとのことである。遺族に対しても「申し訳ないことをした。」と謝罪しており、家族に対しても「こんな事をして済まない。申し訳ないと感じている。」と述べているという。しかし犯した罪は罪であり、遺族への謝罪の心を忘れずに刑を全うし、社会復帰できることを願っている。

学力を付けると言うことは、将来生きていく上での選択肢の幅を広げ、夢の実現や、職業選択の礎になるものであり、だからこそ勉強する意味と価値がある。しかし勉強してもこのような少年が生まれてくるようでは……と、考えさせられる事件でもある。

将来のことをもっと真剣に相談に乗ってやれる仕組みが必要であり、回りにいる不幸な(?)境遇を乗り越え、人生を豊かに生きている先達の話の聞かせることも進路指導では必要ではないかと考えている。

私も高校受験の時、一端の腕のいい職人であった父から、昔、父が働いていたお店に丁稚にはいるよう話をもちかけられたことがある。私なりに夢もあり、国立の電波高等専門学校(当時全国に3校しかなかった)に行き、その後大学の専門コースに進みたいと考えていたが、家のことを考えると諦めざるを得ないと自分なりに納得していた。そんな時、中学の担任が父を説得し、父も渋々、商人にさせるので商業高校ならと受験を認めてくれたが、担任は密かに普通科の受験願書を用意していたようである。受験の当日

初めて知ったが、「責任は先生が取る。」の声に励まされて試験会場に入ったことを思い出す。入学した後も、高校を受験することに反対だった父が大学受験を許すわけがなく、授業に身が入らず、成績は階段を転げ落ちるようであつという間に下がったが、誰にも負けたくない教科(物理)があり、その教科だけは常にトップグループを維持していたので、良く担任に「こんな難しい勉強ができるのに、何故他の教科も真剣に勉強しないのか。」と窘められたことが度々あった。

大学受験の転機が訪れたのは3年の冬休み、一流企業への推薦就職が決まり、手続きに職員室に入った時である。

「君も大学に行ける」と大きく書かれたポスターの文字が突然目に飛び込んできた。

新聞配達少年募集のポスターである。こんな方法で大学に行けるのなら内定を取り消してもらい、大学を受験したいと担任に願い出た。と同時に、3年間全く勉強していなかったので留年を希望し、真剣に勉強してから受験したい……と伝えたところ、「君の中学生の頃の話は弟から良く聞いていたよ。(中3の担任は兎玉先生、高3の担任は福島先生といい、名前も体型や顔も全く違うので、兄弟とは思ってもいなかった…。)留年なんかしなくても、君なら今から勉強しても間に合うよ。頑張ってみろ。」の励ましに、わずか2ヶ月の期間(当時国立の二期試験が2月13日前後だったと記憶している)猛烈に勉強し、1月末に上京(卒業式にも出席しなかったが……)新聞配達をしながら受験したことを思い出す。

住み込んだのがS新聞の三軒茶屋販売店であり、当時のA、M、Yの三大新聞と違い、同じ数を配達するには、配達エリアも三倍以上、新聞も経済新聞とスポーツ新聞を含め配達するために、間違わないよう気を遣うことが多かった。武蔵小金井のキャンパスまで通うことになり、睡眠時間も3時間しかとれず、結果として体をこわしてしまい、半年ほど田舎に帰省し、休学して静養することになった。1年後に復学したが、その後も多くの試練があった。(3人の学友が、坂井はいいアルバイトをしているらしいと言うことで、冬のスキー旅行代金稼ぎに仕事を紹介してやったが、二日と持たなかった。)その道を選択しなければ大学に行けなかった訳であり、無我夢中で生きていたので、自分にとっては苦勞でも何でもなかったし、頑張っているからこそ助けてくれる人がいたと当時も今も思っている。

夢を叶える方法は必ずある。(大学に行きたいのなら、他にも企業の奨学資金を受ける方法があると紹介されたが、卒業後の道が限定されるのがいやで諦め、新聞配達の道を選んだ。)本当は経済的に恵まれない子供たちのための奨学金制度や進学の道を社会的な制度として準備してやる必要があるとは思うが、同時に本人の強い願望とどんな困難にも負けない強い意志がなければならない。この少年にも、もっと強い意志を育む環境があり、多くの選択肢があることを回りの大人が話してやる機会がなかったことが残念である。ましてや、一旦就職の道考えたのなら、その覚悟が本当にできていたのかと思わざるを得ない。

進路指導とは生き方指導である。進路指導が学校教育に持ち込まれた当時、小学校現場では進路指導を進学指導と思ひこみ、受験する子供は僅かであるからと取り組んでこなかったことがある。中学校でも、3年生の受験指導と誤解した、似たようなことがあった。最近ようやくキャリア教育が小学校でも実施されるようになってきたが、進路指

導とは、単なる職場体験学習ではなく、人生をどう生きていくのか。そのためにどんな方法があるのか。自分自身の生き方に覚悟を決めなければならないことがあることを学ぶ教育でもある。自分の人生を力強く生き抜いていくための、そんな進路指導をお願いしたい。

3. 東京学芸大学「教職入門」授業、指導講師の依頼について

今年も東京学芸大学の「教職入門」の指導依頼が届いた。今年度から全て後期の授業となり、対象は2年生となる。例年と同じく、初等教育教員養成課程が3クラス、中等教育教員養成課程が2クラスとなる。依頼内容を小・中の会長に渡すので、対応をお願いしたい。私も昨年同様、1年生に3回ほど特別講義をすることになっている。

教育の世界を引き継ぐ後継者養成や学生ボランティア確保の視点からも、積極的に関わって欲しい。学芸大学の担当者も小平の先生方を頼りにしている。

4. 教育委員の学校訪問時における授業参観資料について

教育委員の学校訪問については学校経営を中心に参考資料の準備をお願いしたい。

授業参観の資料準備については、学年・組・授業者名・教科、単元名・本時のねらいと指導内容、活動内容等が概略分かるように、一人分をA4判1枚にまとめた授業案を準備して欲しい。

5. 学校と家庭・地域社会との連携の一層の推進について

小平市教育委員会は、学校と家庭、地域社会の連携をいち早く教育施策「21☆こだいらの教育改革アクションプラン」に位置づけ、社会人や学生ボランティアの導入を積極的に図ってきた。東京都のサポートネット事業やプラットフォーム事業にも積極的に取り組み、文部科学省の「学校支援地域本部事業」の事例ともなっている。更に、コミュニティ・スクール事業や放課後子ども教室等、小平方式と言われる実践スタイルが認められ、高い評価を頂いている。他県や都内からの視察も増えている。これらの評価は、地域ぐるみで学校支援や子供たちの健全育成に取り組んでいる地域力のすごさが評価されたものであり、関係者や関係機関の皆さんに心から感謝する次第である。

ところで、学校支援ボランティアの導入は、学校と地域との関係づくりの一つの手段であり、目標点ではない。一層の連携を進めていくためにも、学校の校務分掌にボランティアコーディネーター担当教員を位置づけ、そして、コミュニティ・スクールの実現に向け管理職自らその推進役になる覚悟で取り組んで欲しい。

(ボランティアコーディネーター担当教員と言っても、本人がコーディネートしたり、ボランティアを探したりするのではなく、教員が自分の授業をより豊かな、しかも子供たちが興味や関心を示してくれる授業を準備するために、コーディネーターを介してのお手伝いをお願いする事になる。)

6. 文部科学省、東京都からの委託事業について

特別支援教育

スクール・ソーシャルワーカー活用事業

7. 春の全国交通安全運動について

春の全国交通安全運動が4月6日（日）から15日（火）にかけて実施されてきた。

昨年度は痛ましい交通事故があったが、二度と子供の巻き込まれる事故が発生しないよう、普段から交通安全教育については心掛けて欲しい。私が現役の頃は警察から関係資料を取り寄せ、春と秋の運動旬間は勿論、年間を通して、メーンスローガンとサブスローガンを白抜き文字で印刷し、子供たちにクレヨンや色鉛筆で塗らせ、教室や廊下、階段の掲示板等に張って注意を促していた。家族で取り組みたいという要望にも応えていた。全校朝会では、命の大切さ、尊さ、家族の愛等について常に語りかけ、事故が起きたときに如何に多くの人々が悲しむかを実感させることに努めてきた。今回、警察より交通安全用の啓発紙を取り寄せたので是非活用して欲しい。

メーンスローガン		やさしさが	走るこの街	この道路
サブスローガン	子供向け	青だけど	車はわたしを	見てるかな
	高齢者向け	長年の	知恵とゆとりで	交通安全
	自転車向け	携帯は	自転車停めて	降りてから
	二輪車向け	やめようよ	ジグザグ	すり抜け 急制動
	自動車向け	締めたかな	自分も	となりも うしろもね
		飲酒運転	するも	させるも 犯罪者

8. 平成20年度、スクール・アクションプログラムの実施に向けて

スクール・アクションプログラムの報告会は、各小・中学校の取り組み状況と成果が他の学校の教員にも身近にある市内の学校の実践事例として共有することができ、参考となっている。特に若手教員の大量採用時代の今、社会が求めている教育課題の解決に向けた最前線の現場での実践に取り組めることは、言ってみれば今社会が求めている教員としての資質・能力に磨きをかける最高のチャンスでもあることを自覚し、全力を尽くして欲しい。特に、平成20年度から学芸大とのスクールインターンシップが始まる。

また学生ボランティアとして参加する学生や教職大学院に学ぶ教員のためにも、各学校の具体策について学芸大に提供し、学生の選択の資料ともしたい。昨年同様提出をお願いする。

- ◎ 「21☆こだいらの教育改革アクションプログラム」の11課題+コミュニティ・スクールについて、各校毎の実施内容を明らかにし、その中から平成20年度、特に重点施策として取り上げ、実践する課題を三点あげ、実践の具体策を明確にする。
- ◎ 昨年度と同課題を取り上げた学校は、その根拠を明確に示す。
- ◎ それらを実践・解決していくために押さえておくべきポイントを示す。
また、実践に向けた具体策とスケジュールを示す。
- ◎ 期待される成果（子ども、保護者、地域、教師、学校経営について）を示す。

尚、全校分をまとめ、資料とするので、以下に示す書式に沿って、5月12日（月）に提出をお願いします。

資料は見開きとするため、アクションプログラム11課題について各校が独自に進めるプログラム実施内容の要約を2ページに収め、重点施策三点については、一課題を偶数ページに収めることとする。（原則見開き2ページ）

文書スタイルは、A4縦・横書き、文字数40字×行数40行、余白は上下、左右共20ミリ、文字サイズ12ポイント、文字種は細丸ゴシック体または同種の文字種とする。

1. スクール・アクションプログラム課題名
2. 課題設定の理由（前年度に引き続き同課題を設定する場合には、その根拠を明確に示すこと）
3. 解決・実践上押さえるべきポイント
4. 解決・実践の具体策とスケジュール
5. 期待できる成果
 - ①子ども
 - ①教職員
 - ②保護者・地域
 - ④学校経営
6. 自由意見

上記の内容について校長が起案し、教職員に周知する。それを受け、副校長として20年度実施のアクションプログラムの課題解決に向け取り組む具体策を明らかにする。副校長用書式は、以下の通りとする。

副校長課題 校長課題1～3をそれぞれ2ページに収める。
文書スタイルは校長様式と同様

1. アクションプログラム課題名
2. 校長が課題とした背景（同課題の場合はその根拠）
3. 課題解決・実践上押さえるべき副校長の役割
課題
校長
教職員

子ども
保護者
地域

4. 課題解決・実践に向けた副校長の具体策とスケジュール

5. 自由意見

以下の体裁で合本するので、それぞれに示したページ番号を打つこと。

2 1 ☆こだいらの教育改革 こだいらスクール・アクション・プログラム目次

	あいさつ……………	1		
	アクションプログラム解説……………	2～3		
	目次……………	4～5	校 長	副校長
小平第一 小学校	アクション・プログラム 1 1 ……	1～2		
	重点課題 1・学力向上 ……	3～4		5～6
	重点課題 2・特別支援教育 ……	7～8		9～10
	重点課題 3・環境教育 ……	11～12		13～14
小平第二 小学校	アクション・プログラム 1 1 ……	15～16		
	重点課題 1・学力向上 ……	17～18		19～20
	重点課題 2・キャリア教育 ……	21～22		23～24
	重点課題 3・健康・安全教育……………	25～26		27～28
小平第三 小学校	アクション・プログラム 1 1 ……	29～30		
	重点課題 1・学力向上 ……	31～32		33～34
	重点課題 2・コミュニティ・スクール……………	35～36		37～38
	重点課題 3・家庭教育支援育 ……	39～40		41～42
小平第四 小学校	アクション・プログラム 1 1 ……	43～44		
	重点課題 1・学力向上 ……	45～46		47～48
	重点課題 2・コミュニティ・スクール……………	49～50		51～52
	重点課題 3・家庭教育支援育 ……	53～54		55～56
小平第五 小学校	アクション・プログラム 1 1 ……	57～58		
	重点課題 1・学力向上 ……	59～60		61～62
	重点課題 2・健康・安全教育 ……	63～64		65～66
	重点課題 3・特別支援支援 ……	67～68		69～70
小平第六 小学校	アクション・プログラム 1 1 ……	71～72		
	重点課題 1・学力向上 ……	73～74		75～76
	重点課題 2・健康・安全 ……	77～78		79～80
	重点課題 3・健全育成 ……	81～82		83～84

小平第七小学校	アクション・プログラム 1 1	85～ 86	
	重点課題 1・学力向上	87～ 88	89～ 90
	重点課題 2・情報教育	91～ 92	93～ 94
	重点課題 3・国際理解教育	95～ 96	97～ 98
小平第八小学校	アクション・プログラム 1 1	99～100	
	重点課題 1・学力向上	101～102	103～104
	重点課題 2・健康・安全	105～106	107～108
	重点課題 3・キャリア教育	109～110	111～112
小平第九小学校	アクション・プログラム 1 1	113～114	
	重点課題 1・学力向上	115～116	117～118
	重点課題 2・健康・安全	119～120	121～122
	重点課題 3・特別支援教育	123～124	125～126
小平第十小学校	アクション・プログラム 1 1	127～128	
	重点課題 1・学力向上	129～130	131～132
	重点課題 2・福祉教育	133～134	135～136
	重点課題 3・健全育成	137～138	139～140
小平第十一小学校	アクション・プログラム 1 1	141～142	
	重点課題 1・学力向上	143～144	145～146
	重点課題 2・福祉教育	147～148	149～150
	重点課題 3・健康・安全	151～152	153～154
小平第十二小学校	アクション・プログラム 1 1	155～156	
	重点課題 1・学力向上	157～158	159～160
	重点課題 2・特別支援教育	161～162	163～164
	重点課題 3・環境教育	165～166	167～168
小平第十三小学校	アクション・プログラム 1 1	169～170	
	重点課題 1・学力向上	171～172	173～174
	重点課題 2・健康・安全	175～176	177～178
	重点課題 3・特別支援教育	179～180	181～182
小平第十四小学校	アクション・プログラム 1 1	183～184	
	重点課題 1・学力向上	185～186	187～188
	重点課題 2・健康・安全	189～190	191～192
	重点課題 3・豊かな読書活動	193～194	195～196
小平第十五小学校	アクション・プログラム 1 1	197～198	
	重点課題 1・学力向上	199～200	201～202
	重点課題 2・国際理解教育	203～204	205～206
	重点課題 3・特別支援教育	207～208	209～210
花小金井小学校	アクション・プログラム 1 1	211～212	
	重点課題 1・学力向上	213～214	215～216
	重点課題 2・環境教育	217～218	219～220
	重点課題 3・福祉教育	221～222	223～224

鈴 木 小 学 校	アクション・プログラム 1 1	225～226	
	重点課題 1・学力向上	227～228	229～230
	重点課題 2・特別支援教育	231～232	233～234
	重点課題 3・健康・安全	235～236	237～238
学 園 東 小 学 校	アクション・プログラム 1 1	239～240	
	重点課題 1・学力向上	241～242	243～244
	重点課題 2・家庭教育支援	245～246	247～248
	重点課題 3・国際理解教育	249～250	251～252
上 宿 小 学 校	アクション・プログラム 1 1	253～254	
	重点課題 1・学力向上	255～256	257～258
	重点課題 2・健康・安全	259～260	261～262
	重点課題 3・豊かな読書活動	263～264	265～266
小 平 第 一 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	267～268	
	重点課題 1・学力向上	269～270	271～272
	重点課題 2・豊かな読書活動	273～274	275～276
	重点課題 3・健全育成	277～278	279～280
小 平 第 二 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	281～282	
	重点課題 1・学力向上	283～284	285～286
	重点課題 2・特別支援教育	287～288	289～290
	重点課題 3・健全育成	291～292	293～294
小 平 第 三 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	295～296	
	重点課題 1・学力向上	297～298	299～300
	重点課題 2・福祉教育	301～302	303～304
	重点課題 3・国際理解教育	305～306	307～308
小 平 第 四 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	309～310	
	重点課題 1・学力向上	311～312	313～314
	重点課題 2・キャリア教育	315～316	317～318
	重点課題 3・健全育成	319～320	321～322
小 平 第 五 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	323～324	
	重点課題 1・学力向上	325～326	327～328
	重点課題 2・豊かな読書活動	329～330	331～332
	重点課題 3・健全育成	333～334	335～336
小 平 第 六 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	337～338	
	重点課題 1・学力向上	339～340	341～342
	重点課題 2・健全育成	343～344	345～346
	重点課題 3・国際理解	347～348	349～350
上 水 中 学 校	アクション・プログラム 1 1	351～352	
	重点課題 1・学力向上	353～354	355～356
	重点課題 2・特別支援教育	357～358	359～360
	重点課題 3・健康・安全	361～362	363～364

花小金井南中学校	アクション・プログラム 1 1	365～366	
	重点課題 1・学力向上	367～368	369～370
	重点課題 2・キャリア教育	371～372	373～374
	重点課題 3・情報教育	375～376	377～378

2 1 ☆こだいらの教育改革 こだいらスクール・アクション・プログラム実施状況

スクールアクション・プログラム 1 1 課題 + コミュニティ・スクール

小平第一 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・特別支援教育	・特別支援教育	・学力向上
重点課題 2	・福祉教育	・福祉教育	・特別支援教育
重点課題 3	・国際理解教育	・国際理解教育	・環境教育

小平第二 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・健康・安全教育	・健康・安全教育	・キャリア教育
重点課題 3	・特別支援教育	・特別支援教育	・健康・安全教育

小平第三 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・特別支援教育	・豊かな読書活動	・コミュニティ・スクール
重点課題 3	・情報教育	・健康・安全教育	・家庭教育支援

小平第四 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・特別支援教育	・学力向上
重点課題 2	・国際理解教育	・国際理解教育	・コミュニティ・スクール
重点課題 3	・特別支援教育	・健康・安全教育	・家庭教育支援

小平第五 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・特別支援教育	・健康・安全教育	・健康・安全教育
重点課題 3	・家庭教育支援	・特別支援教育	・特別支援教育

小平第六 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・コミュニティ・スクール	・学力向上
重点課題 2	・コミュニティ・スクール	・家庭教育支援	・健康・安全教育
重点課題 3	・家庭教育支援	・学力向上	・健全育成

小平第七 小学校	18年度	19年度	20年度

重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・情報教育	・情報教育	・情報教育
重点課題 3	・キャリア教育	・キャリア教育	・国際理解教育

小平第 八 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・キャリア教育	・健康・安全教育	・学力向上
重点課題 2	・健康・安全教育	・キャリア教育	・健康・安全教育
重点課題 3	・国際理解教育	・国際理解教育	・キャリア教育

小平第 九 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・健康・安全教育	・健康・安全教育	・学力向上
重点課題 2	・特別支援教育	・特別支援教育	・健康・安全教育
重点課題 3	・健全育成	・健全育成	・特別支援教育

小平第 十 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・福祉教育	・健全育成	・学力向上
重点課題 2	・国際理解教育	・福祉教育	・福祉教育
重点課題 3	・健康・安全教育	・国際理解教育	・健全育成

小平第十一小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・福祉教育	・福祉教育	・福祉教育
重点課題 3	・健全育成	・健全育成	・健康・安全教育

小平第十二小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・環境教育	・環境教育	・特別支援教育
重点課題 3	・福祉教育	・特別支援教育	・環境教育

小平第十三小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・健全育成	・健全育成	・健康・安全教育
重点課題 3	・家庭教育支援	・家庭教育支援	・特別支援教育

小平第十四小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・豊かな読書活動	・健康・安全教育	・健康・安全教育
重点課題 3	・特別支援教育	・豊かな読書活動	・豊かな読書活動

小平第十五小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題2	・環境教育	・国際理解教育	・国際理解教育
重点課題3	・国際理解教育	・環境教育	・特別支援教育

花小金井 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題1	・福祉教育	・情報教育	・学力向上
重点課題2	・情報教育	・環境教育	・環境教育
重点課題3	・環境教育	・福祉教育	・福祉教育

鈴木 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題2	・特別支援教育	・特別支援教育	・特別支援教育
重点課題3	・福祉教育	・福祉教育	・健康・安全教育

学園東 小学校	18年度	19年度	20年度
重点課題1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題2	・家庭教育支援	・家庭教育支援	・家庭教育支援
重点課題3	・国際理解教育	・国際理解教育	・国際理解教育

上宿 小学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題2	・豊かな読書活動	・豊かな読書活動	・健康・安全教育
重点課題3	・福祉教育	・福祉教育	・豊かな読書活動

小平第一 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題2	・特別支援教育	・豊かな読書活動	・豊かな読書活動
重点課題3	・健全育成	・健全育成	・健全育成

小平第二 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題1	・家庭教育支援	・特別支援教育	・学力向上
重点課題2	・学力向上	・学力向上	・特別支援教育
重点課題3	・特別支援教育	・家庭教育支援	・健全育成

小平第三 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題1	・学力向上	・福祉教育	・学力向上

重点課題 2	・福祉教育	・学力向上	・福祉教育
重点課題 3	・国際理解教育	・国際理解教育	・国際理解教育

小平第 四 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・健全育成	・健全育成	・キャリア教育
重点課題 3	・キャリア教育	・キャリア教育	・健全育成

小平第 五 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題 1	・学力向上	・学力向上	・学力向上
重点課題 2	・豊かな読書活動	・豊かな読書活動	・豊かな読書活動
重点課題 3	・健全育成	・健全育成	・健全育成

小平第 六 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題 1	・家庭教育支援	・国際理解教育	・学力向上
重点課題 2	・福祉教育	・福祉教育	・健全育成
重点課題 3	・国際理解教育	・健全育成	・国際理解教育

上 水 中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題 1	・学力向上	・特別支援教育	・学力向上
重点課題 2	・特別支援教育	・学力向上	・特別支援教育
重点課題 3	・健康・安全教育	・健康・安全教育	・健康・安全教育

花小金井南中学校	18年度	19年度	20年度年度
重点課題 1	・学力向上	・キャリア教育	・学力向上
重点課題 2	・情報教育	・情報教育	・キャリア教育
重点課題 3	・キャリア教育	・学力向上	・情報教育

9. その他

- * 教科等研究部会、学習指導要領の改訂に向けた先行研究について
- * 加配されている習熟度別学習加配、TT加配、嘱託員、非常勤教諭等、教員の適切な業務指示と執行管理について（校長、副校長、担当者の責任ある執行を……）
- * 学校医の先生方との連携について
- * 学校支援ボランティアの活動の把握について（接遇の問題）
- * 学校のホームページの更新と内容充実について
- * スクール・インターンシップの導入に当たり、学生ボランティアの活動実績（活動日数、活動内容とその成果、他のボランティアや保護者・地域との関わり、教師としての資質・能力等）について

(特に教員採用試験に合格した学生の確保を希望する場合には詳細な記録を)

- * 主任児童委員、民生・児童委員とのチームワーク、児童相談所との連携について
- * 第27回小平グリーンロード歩こう会

今年度は、今週の4月20日(日)に開催される。上記行事は、市民憲章推進協議会の健康なまちづくりを進める一環として開催されてきたが、子どもや家族の参加が大変少なく、いつも残念な思いをしている。

- * 「心と体の健康づくり」に関する資料は、5月の合同会議にて改めて提供する。